

易 經

中国の思想

編輯者 廣田



訳 ■ 丸山 松幸

監修 ■ 松枝 茂夫 ■ 竹内 好

中国の思想

易 経

例 言

- 一、本書は、「周易」のうち、経文上下、彖伝上下、象伝上下、文言伝（一部省略）、繫辭伝上下を訳出し、説卦伝、序卦伝、雜卦伝は省略した。ただし彖伝と象伝は、彖辭と爻辭にふくめて訳してある。訳出に際して、経文と十翼を不可分のものとして取りあつかう立場をとったからである。
- 一、底本としては、もっぱら十三経注疏「周易正義」（王弼・韓康伯注、孔穎達等疏）を使用した。ただし、乾卦のみ経文と彖・象伝が分かれているのを、他卦と同様に統一した。また繫辭伝の分章は、従来のものにとられず、文脈の通ずる部分をまとめた。
- 一、錯簡、衍文、脱文などの疑いのある部分は適宜改めたが、意味の通ずる限り原文を動かすことは最少限にとどめた。
- 一、各卦のはじめに、見出し・解説を付し、訳文のあとに簡単な注を付したが、これはもちろん原文にはないものである。

装幀 上口睦人

目 次

解 題

六十四卦卦爻辭		壹
(1) 乾	三三(乾为天) 盈つるは欠くる兆	三
(2) 坤	三三(坤为地) 母なる大地	望
(3) 屯	三三(水雷屯) 生まれいずる悩み	五
(4) 蒙	三三(山水蒙) 物ごころつかぬ幼児	壹
(5) 需	三三(水天需) 隠忍自重	六
(6) 訟	三三(天水訟) 争いは水際まで	六
(7) 師	三三(地水師) 戦いの道	叁
(8) 比	三三(水地比) 人の和	叁
(9) 小畜	三三(风天小畜) 剛を制する道	六
(10) 履	三三(天沢履) 虎の尾を踏む	七
(11) 泰	三三(地天泰) 上下和合、泰平の道	五
(12) 否	三三(天地否) 時代閉塞の現状	六
(13) 同人	三三(天火同人) 友を求めて	八
(14) 大有	三三(火天大有) 真昼の太陽	六
(15) 謙	三三(地山謙) 実るほど頭をたるる	
	稀薄かな	七
(16) 豫	三三(雷地豫) 飲楽の功罪	六
(17) 随	三三(沢雷随) 何に随うか	九
(18) 蠱	三三(山風蠱) 禍を転じて福となす	五
(19) 臨	三三(地沢臨) 世に臨む	六

繫辭下伝	二六
------	----

不変の原理	二六
-------	----

易の卦象と文物制度	二六〇
-----------	-----

陽卦と陰卦	二六六
-------	-----

易の言葉の含蓄	二六七
---------	-----

易の言葉	二七五
------	-----

易卦と修徳	二七七
-------	-----

易書の本質	二七九
-------	-----

易の吉凶	二八四
------	-----

言葉は心の表われである	二八五
-------------	-----